

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年11月26日(月)～12月2日(日)〔平成24年第48週〕の感染症発生状況

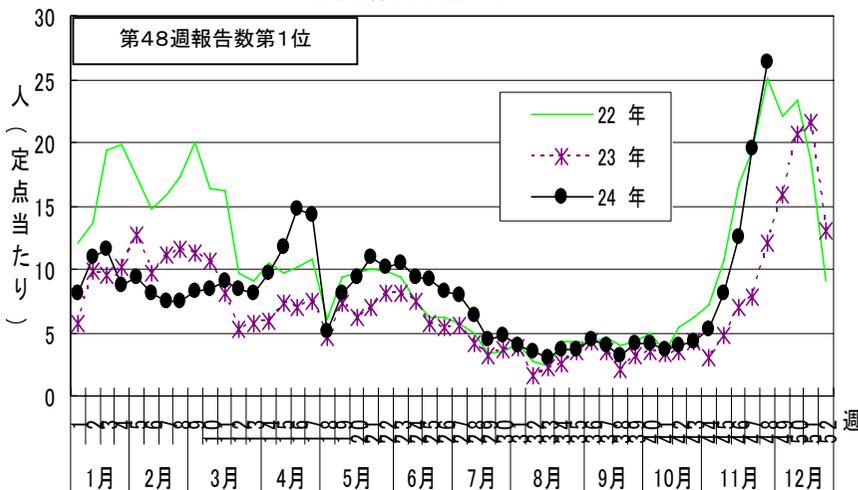
第48週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり26.38人と前週(19.56)より患者報告数は急増し、例年より高いレベルで推移しています。

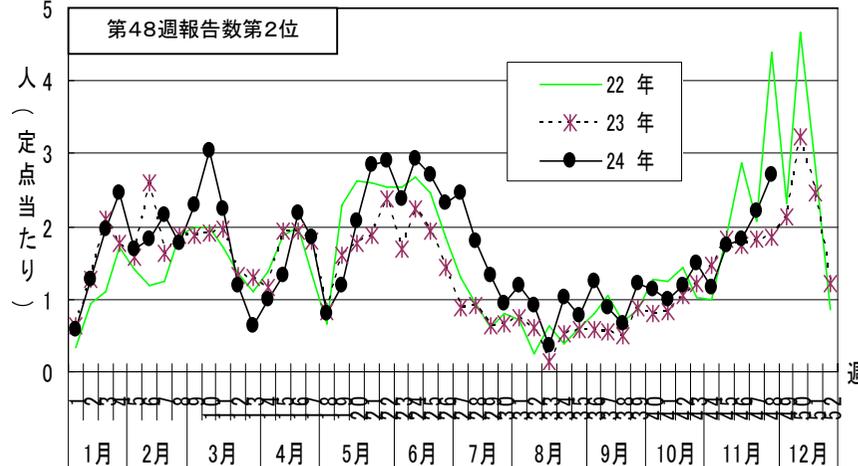
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.72人と前週(2.22)より患者報告数はやや増加し、例年よりもやや高いレベルで推移しています。
デング熱の届出が1件(推定感染地域：フィリピン)ありました。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



訂正 平成24年11月28日発行(第47週分)の本紙中 誤：「第48週の感染性胃腸炎の」→正：「第47週の感染性胃腸炎の」※一部訂正が反映された発行物もあります。

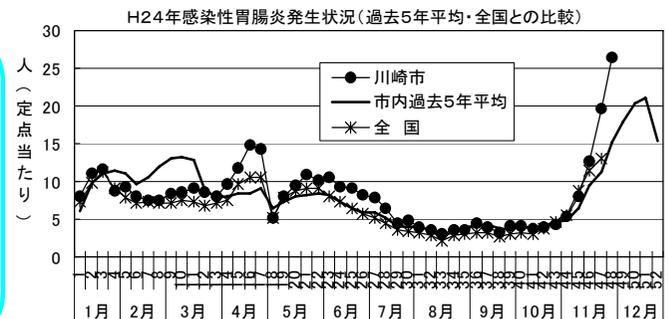
『感染性胃腸炎』流行発生警報発令！！

第48週の感染性胃腸炎の報告数が流行発生警報基準値である定点当たり20人を超えたため、川崎市内に**感染性胃腸炎の流行発生警報**を発令しました。右下のグラフのとおり、今後感染性胃腸炎患者がさらに増える可能性がありますので注意が必要です。

感染性胃腸炎はどんな症状？

冬季に急増する感染性胃腸炎の原因の多くは「ノロウイルス」で、主な症状は、おう吐や下痢です。

抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、おう吐物をのどに詰まらせたり、下痢で脱水症状がひどくなるなどの危険があるため、油断は禁物です。



みんなで徹底！ ノロウイルス の感染予防



- ① 二枚貝等の取扱いには注意し、中心部まで加熱調理(85℃で1分以上)して食べるようにしましょう。
- ② 患者の便やおう吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗いを徹底しましょう。
- ③ 便やおう吐物を放置すると、含まれていたノロウイルスが乾燥して空中に舞上がったウイルスによって感染することもあります。患者の便やおむつ、おう吐物は乾燥しないうちに速やかに片付けましょう。
- ④ 必要に応じて家庭用塩素系漂白剤(※次亜塩素酸ナトリウム)などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。